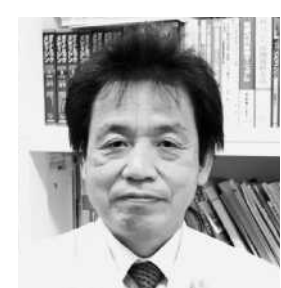


産学官で市場を拓く 大分県の医療機器産業界



大分大学医学部では、医療現場の開放と垣根を越えた異業種の融合を旨として産学官連携活動を推進している。医療機器開発には医

教授 穴井 博文氏
産現場を実際に見て、知る。ニーズ発掘から製品販売までのさまざまなプロセスを、企業や大学が一体となって進めることが重要である。現在、同センターが取

他大学と連携強化
り組んでいるものの中に、トライテック(大分市)が開発中の内視鏡下手術の際にカメラの曇りを防止するデバイスがある。同社と共同で大動物を用いた実証実験を行っている。他大学との連携も強化する。宮崎大学とは協力を結んでおり、イベントなど相互参加、合同開催を目指して行く。海外展開においては、立命館アジア太平洋大学との連携も進めてい



大分県医療ロボット・機器産業協議会は、大分県産の医療福祉機器・製品を常設で展示する「メディバレー」拠点「メディバレーおおいた」(通称M

会長 丸井 彰氏
VOC)を強化させ、アステム大分本社の敷地内にリニューアルオープンした。展示企業数は現在20社・団体。製品を展示している。予約を入れてもらえば30人規模のセミナーやイベント、商談などいつでも来てもいい。ぜひ有効活用していただ

リニューアルで再始動
間連携、支援機関との連携を深めていく。具体的には、売れる製品化を進める。例えば企業間連携としては医療福祉のアステムといったディラー業界や、医療メーカーも含めた再連携をして商品化、製品のさらなる改良を進め、メディバレーおおいたを盛り上げていく。医療福祉・ヘルスケア市場は45兆円規模ともいわれる。今後は海外へも積極的に売って

キーマンに聞く「メディバレー」構想実現に向けて

大分県は、宮崎県と共に両県の産学官と連携し「東九州メディカルバレー構想」を2010年10月に策定、スタートした。これは医療分野、介護・福祉分野も含めた医療関連機器産業の集積を目指す取り組みで、国の地域活性化総合特区に認定され、現在は第3期計画の中盤に入っている。同構想の早期実現に向けた大分県内での動きを中心に各企業や中核団体の活動拡大の状況について紹介する。



大分県医療ロボット・機器産業協議会は、県内中小企業の医療関連機器を常設展示する施設「メディバレーおおいた」を2月6日に移転・拡充した。東九州メディカルバレー構想の実現を確実に進める上で、大分県産の医療関連機器を知ってもらうための拠点だ。医薬品卸のアステム大分本社(大分市)の社屋建て替えに伴い、敷地内にあるグループ会社棟1階へと移転したことで、気軽に入りやすい環境となっている。

県内中小企業の医療関連機器を常設展示 交流・商談スペース新設

| メディバレーおおいた 出展企業 | |
|-----------------|-------------------|
| 株式会社アステム | 株式会社デンケン |
| アドテック株式会社 | トクソー技研株式会社 |
| いくつものかたち株式会社 | 株式会社トライテック |
| エアロシールド株式会社 | 日本ヒューマンメディック株式会社 |
| 株式会社AKシステム | 株式会社ネオマルス |
| 株式会社エイビス | 有限会社ビューティフルライフ |
| 大分ロケアセンター株式会社 | フォレストゼミナール |
| 株式会社キューメイ研究所 | ヘルメット潜水株式会社 |
| 株式会社ケイ・エス・ケイ | 株式会社ホックス |
| ケイ・デザイン | 大分大学医学部附属臨床工学センター |

「メディバレーおおいた」リニューアルオープン

利用できる。特に注目されているのは、トライテック(大分市)が開発中の硬性内視鏡洗浄カバリー「オパール」。腹腔鏡手術など内視鏡を使う手術では、スコープの先端が体液やカスで汚れて見えなくなるため、手術を中断して内視鏡を抜き取っていた

新たな産業基盤 構築へ 推進大会を初の共同開催



大分県と宮崎県が初めて合同開催した「東九州メディカルバレー構想推進大会」

大分県では大分県医療ロボット・機器産業協議会を中核団体に据え、東九州メディカルバレー構想を運営している。2月14日に「東九州メディカルバレー構想推進大会」を大分、宮崎の両県が初めて宮崎市内で共同開催。関係者ら約170人が集い、盛況した。メディキットの景山洋二社長が同社の事業内容と今後の展開について基調講演した。経済産業省の渡辺信彦医療・福祉機器産業室長は企業や大学、自治体、地域間の連携の重要性を説き、補助金の活用を促した。大阪商工会議所は、次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)の最新成果事例として安井(宮崎市)の骨に書けるペン「ピボマーク」を紹介。アドテック(大分県宇佐市)の小林行治取締役は「ウィルス・細菌との戦いの歩み」と題して自社の取り組みを紹介した。

優しさをカタチに。医療・介護・福祉にテクノロジーで貢献します。

トクソー技研株式会社

代表取締役社長 徳永 浩幸
大分県宇佐市大根川 318

体内洗浄を可能とした硬性内視鏡レンズ洗浄装置「OPLYS」

株式会社トライテック

代表取締役 竹崎 博
本社 工場：大分県大分市青崎一丁目3番42号
野津・医療工場：大分県臼杵市野津町大字吉田 974-10

医療機器開発と地域活性化を目指した人材育成

大分大学医学部では、東九州メディカルバレー構想推進のため医療現場の開放と、垣根を越えた異業種の融合を目指した産学官連携・産学官連携を推進しています。医療機器開発に参入する地場企業を対象とした、医療ビジネス研修会、医療機器ニーズ探索交流会、座談会など医療従事者と企業が直接ディスカッションできる場と情報を提供しています

臨床現場研修 スキルラボ研修 Reverse Engineering

大分大学 医学部臨床工学センター
大分県宇佐市大根川1丁目1番地 https://lkogaku.jp

新規会員募集中!!

大分産業人クラブ

会長 池永 征司 (株式会社コンクレタス 代表取締役)

事務局：日刊工業新聞 東九州支局
〒870-0823
大分県大分市東大道1-8-28-803
TEL 097-578-9195
FAX 097-578-9196

大分県医療ロボット・機器産業協議会

大分県では、「東九州メディカルバレー構想」を推進するため、平成28年度に「大分県医療ロボット・機器産業協議会」を設立し、県内の医療関連機器産業の振興に向けた様々な活動を産学官が一体となって行っています。協議会は200を越える会員企業、支援機関と共に活動中です。「医療関連機器で専門的で難しそう...」「異分野だから」と感じる方もいらっしやと思います。私たちは異業種の方々への加入も大歓迎です。当協議会に関心のある方は、是非ご連絡ください!

医療関連機器産業への新規参入から研究開発、国内外への販路拡大まで幅広く支援!

| 新規参入支援 | 研究開発支援 | 販路拡大支援 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 医療関連産業参入促進セミナーの開催 ニーズ探索会の開催 ビジネスマッチング会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 医療関連機器の事業化への補助 臨床工学技術士等による現場目線での機器評価 医療従事者や会員企業等による座談会 | <ul style="list-style-type: none"> 施設向け県産機器導入補助 県内外の展示会への共同出展 展示会出展経費への補助 展示、交流スペース「メディバレーおおいた」の活用 海外展開支援 |

【事務局】
所在地：〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号 大分県庁舎本館7階 大分県商工観光労働部新産業振興室内
TEL:097-506-3268, 3269, 3276 FAX:097-506-1753 e-mail:jimukyoku@medical-valley.jp